



「学力向上に向けた今年度の取組」について以下のとおりまとめました。1年間を見通した継続的な取組を進めていきます。また、ご家庭で取り組んでいただきたいことについても掲載しております。特に子どもたちの生活リズムを整える上で、「スマホ・ゲームの時間制限とルールづくり」は大きな影響があると考えています。情報モラル等について学校でも指導をしていきますが、ご家庭におかれましても是非ともお子様との対話を通じて「スマホ・ゲームの時間制限とルールづくり」についてご協力をよろしくお願いいたします。

学力向上に向けた今年度の取組

今年度の重点目標については太字にしています。

各ご家庭へのお願い

- ・ **宿題や自主学習への取組の習慣づくり**
- ・ **スマホ・ゲームの時間制限とルールづくり**
- ・ 挨拶や親子での会話を楽しむ時間を確保
- ・ 親子で読書をする時間を確保
- ・ 早寝、早起き・栄養バランスのよい朝食



家庭での学習時間の目安

1. **2年生**・・・15～30分
3. **4年生**・・・45～60分
5. **6年生**・・・75～90分

「伊丹市家庭学習のてびき」より

学校での主な取組

1 基礎学力の保障

①朝学習の徹底

- ②休憩時間等を活用した補充学習
- ③基礎的な計算力の徹底と習熟に向けた組織的な取組

2 書くこと・読むこと・算数等の思考力・判断力・表現力の育成

①授業改善

- ・各教科で自分の考えを書く活動を取り入れる。
- ・発展問題に積極的に取り組ませる。
- ・体験的な活動や外部講師を取り入れた授業づくりを行う。
- ・ICT等を効果的に活用し、主体的に取り組ませる。

②しっかり書く習慣づくり

- ・日記・新聞・スピーチ原稿・観察記録等、書く内容とともに最後まで書き切る指導を徹底する。

③読書に取り組む時間の確保

- ・読書時間の設定や場づくり等、読む習慣の啓発（読み聞かせ・読書記録カード等）

④学習理解の定着状況の確認

- ・学年で求められる学力を、定期的にミニテストや到達度テスト、「ミライシード」等で確認する。
- ・4、5年生を対象にCRTテストを実施する。

3 学習習慣の確立

①聴く態度の育成、ボリュームゼロの徹底

- ②忘れもののゼロの徹底（学習用具）
- ③朝学習・授業時間の開始時間厳守
- ④発達段階に応じた課題をやり切らせる。
- ⑤スマホ・ゲーム等の使用時間等に関するルールづくり啓発

